

幼児教育の充実

- 幼児教育については、2019年10月からスタートする幼児教育・保育の無償化への対応とともに、園児数の減少する市立幼稚園における適正規模集団の確保に向けて、各地域の実情を十分に踏まえながら、今後の市立幼稚園のあり方についての検討を進めます。
- 平成31年度は、次期の津市子ども・子育て支援事業計画を策定する年度であることから、市立幼稚園のあり方についての検討結果をしっかりと反映できるよう取り組みます。
- 津市幼児教育・保育カリキュラムを活用し、認定こども園や保育所との連携を図りながら、本市の幼児教育の充実を目指します。

学校施設の整備

- 学校施設の大規模改造事業については、5校(新町小、藤水小、西が丘小、南郊中、久居中)の改修工事を進めます。
- 児童数の増加に伴い、普通教室棟の増築が必要となるため、芸濃小学校で増築工事を行います。
- 小中学校のエアコン整備については、昨年の猛暑を受け、早期設置を望む声が多数寄せられたため、小学校の普通教室へのエアコン整備計画を前倒しして、2020年度完成予定の第三期分を含む29校への設置を行い、さらに、小中学校の特別教室などにも追加して整備を行います。
- 安東小学校で配膳室の整備を行い、給食の共同化を開始します。さらに、大規模改造工事を行う西が丘小学校・藤水小学校では、安全安心な給食を提供するため給食室をドライシステムに改修します。

児童の放課後等の安全安心な居場所づくり

- 利用児童数の増加による施設の狭あい化や、専用施設の確保の改善に向け、北立誠地区放課後児童クラブを閉園後の北立誠幼稚園舎の保育室に整備することをはじめ、民家を借用して運営している大里地区放課後児童クラブの大里小学校1階会議室への移転整備、上野放課後児童クラブが借用している上野小学校体育館2階ミーティングルームの整備を進めます。また、棕本地区放課後児童クラブについては、芸濃こども園の整備に合わせ、芸濃保育園



放課後子供教室の活動

跡地への2つ目の施設整備に向けた実施設計を行います。

- 放課後子供教室については、平成30年度に設置した明地区、辰水地区に加え、新たに草生地区、美杉地区に設置を進めます。

公民館の整備

- 老朽化が進む橋南公民館の移転に伴う旧修成幼稚園舎改修の実施設計を進めるほか、その他の公民館についても、適正な維持管理に努めるなど、生涯学習環境の改善を進めます。
- ボランティア養成などの講座をはじめ、人材を育成する講座の開催による地域の人材育成を進めることにより、公民館の活性化を推進します。公民館の受講生の仲間づくりを支援し、地域の人をつなぐ地域活動の拠点としての機能を推進します。



公民館講座の様子

読書が習慣として身に付くような環境づくり

- 講座やイベントを充実させ、本に触れ合う機会を増やし、子どもから大人までが読書への興味や関心をさらに高められるような取り組みを進め、利用促進を図ります。
- 久居ふるさと文学館の利用者用駐車場について、旧津南工事事務所跡地を駐車場として整備するとともに、三重中央農業協同組合営農センター久居の用地の一部を賃借して駐車場とします。さらに、今後、同文学館の展示ギャラリーの機能向上を図ることにより来館者の増加が見込まれることから、同組合営農センター久居の用地の全部取得について協議を行います。

文化財の保護・活用事業

- 国の登録有形文化財である旧明村役場庁舎が昨年9月2日に開館し、土・日曜日の一般公開のほか、放課後子供教室としても多くの人にご利用いただいております。地域コミュニティとしての活用も含めて、地域の皆さんとの連携を深め、より積極的に公開活用を進めます。
- 公共施設の再編に伴い、安濃郷土資料館はサンヒルズ安濃内の施設として、白山郷土資料館はその展示機能を白山公民館2階へ移転し、地域の特徴を資料によって分かりやすく展示を行います。さらに、これら以外の資料館などについては、企画展示による収蔵資料の公開やボランティアガイド会との連携を通じて、津市の魅力ある歴史・文化を発信します。